

事業所用放課後等デイサービス評価
(職員アンケート)

令和2年 2月

NPO法人新発田市手をつなぐ育成会
かどるあっぷ

事業所用 放課後等デイサービス評価表(職員アンケート)

職員数 9名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	意見
① 環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	6	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の人数が多い日は支援室のスペースが狭く感じる時があるが、他の部屋をうまく活用することで対応できている。 ・利用者の特性に応じた環境を作り、限られたスペースで過ごしている。 ・その日の利用者の人数や特性、職員配置を考慮して、個室の利用や活動内容等臨機応変に対応している。 ・限られたスペースを有効活用している。 ・利用者の人数、過ごし方によっては少し狭く感じる時がある。(体を動かすのが好きな利用者が多いとき) ・相談室、静養室、医ケア室を有効利用できている。 ・集団活動でゲームや体操を行うには狭いと感じる。 ・支援室以外に個室として使える部屋があったり、医ケア室、カフェと有効に活用されている。 ・動きの多い利用者があると、支援室が狭く感じ、安全性を保つのが難しいと感じることがある。
	2	職員の配置数は適切か	4	4	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・マンツーマンの利用者が多い日は不足と感じるが、職員同士が協力し、適切に対応できていると思う。 ・利用者の人数や状態により、また、職員が欠けると(休み、研修等)足りない時間帯がある。 ・児童発達支援管理責任者、相談員が2人抜けると厳しい曜日もある。 ・マンツーマンが必要な利用者以外は自立支援を目指していけると良い。 ・かどるあっぷ全職員で、手が足りないところを補っている。職員研修や会議、休暇が重なり不足するときは、活動の内容を工夫している。 ・放課後の支援としては適切であると思うが、人員に余裕があれば個別支援計画に沿ったより良いサービスは提供できると思う。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・適切だと思う。 ・玄関前に雨よけがあるといい。 ・施設がフラットになっているので放課後デイ利用者にはあまり困難な状況ではない。
② 業務改善	4	業務改善を進めるために目標を設定し、反省会等の振り返りに広く職員が参画しているか	8	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせを実施し話し合いを行っている。 ・問題点や疑問点などがあると、日々のミーティングで皆で話し合いがなされていると思う。 ・業務前のミーティングで話し合いができています。 ・全職員が半年ごとに反省を含めて目標を設定し、仕事への意識向上につながっている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意向に改めて気づくことができ、今後の支援につながる。 ・保護者アンケートの意見は少ないが、参考になる。 ・アンケート調査から保護者の意向を把握することができた。不十分な点について改善していく。 ・改善できている部分もあれば、ご希望にお応えできないところもあるが、話し合うことはできている。 ・保護者からの感謝の言葉やありがたい意見は、職員の励みになり、業務に対する意欲の向上につながっている。
	6	この評価の結果を事業所の会報や、ホームページ等で公開しているか	8	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・HPで公開している。 ・月のお便りでお知らせした。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	分からない	意見
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	0	1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者による外部評価をよく知らない。 ・外部評価は受けていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・外部・内部ともに行い、資質も向上していると思う。 ・実務能力向上のため参加している。 ・内部研修の担当を決め、企画実施することにより、担当者自身のより一層の意識向上もみられる。 ・年間計画で内部研修と外部研修を行っているほかに、掲示板で研修が紹介され、希望者は受講できるようになっている。
③ 適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	8	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・担当職員が中心にアセスメントを行っている。 ・毎日のアセスメントをもとに個別支援計画を作成し、担当者会議を行って計画を決定している。 ・定期的なアセスメントにより、職員全体で情報共有し、計画作成に関わっている。 ・定期的にあセスメントを行っている。 ・作成されていると思う。
	10	子どもの適応行動(集団に溶け込める能力を行動で分析する)の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	1	1	6	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の支援手順はできているが、客観的な判断資料があると、より良い支援方法が見えてくると思う。 ・アセスメントは行っているが、標準化されているかは分からない。 ・標準化されたアセスメントツール、又はシートの使用を考えていかなければならない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングで話し合いを行っている。 ・担当者が立案しミーティングで確認している。 ・様々なアイデアを出し合っている。 ・ミーティング時に職員間で話し合い分担している。
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	9	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の活動内容を変え、固定しないように工夫している。 ・固定化しないように工夫しているが、見通しが持てるよう極端な変更にも気を付けている。 ・様々なツールを使って、活動につながる情報収集をしている。 ・月ごとに内容や担当者を替え、ワンパターンにならないように工夫している。また、利用者みんなが参加できるように配慮している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	9	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・平日は利用者の無理のないような活動、長期休暇中は日頃できない課題や行事を行っている。 ・長期休みは平日の放課後にできない体験活動を多く設定している。 ・長期休暇時は施設外活動や外部講師による様々な活動を提供している。 ・細やかに設定するためには、支援に入る前の下準備が必要。 ・平日はがんばりシールで意欲的に課題に取り組んでいる。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	8	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりに合わせた活動の計画・支援を行っている。 ・子どもの状況に応じた集団活動への参加で、みんなで楽しむことを大事にしている。 ・保護者の意見や要望も考慮し、適切な目標設定をしている。集団活動が苦手な利用者にも無理のない範囲で参加できるよう工夫している。 ・両方組み合わせた個別支援計画になっていると思う。 	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	分からない	意見
③ 適切な 支援の 提供	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングは設けていないが、その日の出来事は職員間で報告しあっている。 ・毎日のミーティングで支援方法の統一も図られていると思う。 ・生活介護の職員は打合せには出席していないが、ヘルプに入るときは出席しても良いのでは？と思う。出席しなくても連絡等はありませんが。 ・毎日のミーティングで役割分担や気を付ける点などを確認している。
	16	支援終了時には職員間で必ず打ち合わせをして、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	3	4	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・支援終了時には職員がそろわないため、翌日のミーティング時に必要事項は話している。 ・次の日のミーティングで振り返りを行っている。 ・毎日の支援経過表の記入により、共有されている。 ・支援の検証・改善は話し合いでできていると思うが、記録に時間がかかる上に、分かりにくい。 ・終了時は時間がなく翌日になることが多い。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・正しく記録している。 ・日々の記録はとっているがその記録をもとに検証・改善につなげるところまではいっていない。口頭で行うことが多い。 ・支援経過表に記録して、アセスメントにつなげている。
	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見通しの必要性を判断しているか	9	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にモニタリングを行っている。 ・見直しの時期にモニタリングを行い、面談を通して計画の内容を考えている。
	19	ガイドライン(別紙)の総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6	0	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインの内容をしっかりと把握できていない部分もあるので、定期的に確認したい。 ・ガイドラインについて内部研修を行った。いろいろな活動を組み合わせて行っている。 ・定期的なガイドラインの確認を行い、その際に支援の在り方についても話し合いを行っている。 ・地域・学校とも連携が取れている。ガイドラインに沿った支援ができていると思う。
④ 関係機 関や保 護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・精通した職員が参加している。 ・児童発達支援管理責任者が出席し、翌日のミーティングで指導員に報告している。 ・児童発達支援管理責任者が最も精通しているので、ふさわしいと思う。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・適切に行っていると思う。 ・学校から月予定を頂いたり、毎月各学校に利用日程表を提出して調整している。 ・学校から信頼を頂いていると感じる。 ・個別のケース会議等も必要に応じ開催している。 ・学校との情報共有は丁寧に行われていると思う。 ・お迎えの時に学校での様子を伺い、支援に役立っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	0	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアが必要な利用者の主治医から、年1回同意書と指示書を頂いている。連絡体制も整えている。 ・主治医の指示書に沿ってケアが行われていると思う。 ・主治医からの指示書に沿って、看護師がケアを行っている。 ・主治医との連携はよくわからないが、アセスメントでの状況を確認しながら看護師がついてくれている。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	分からない	意見
④ 関係機関 や保護者 との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	1	0	5	<ul style="list-style-type: none"> ・入学前にこども園を見学、ケース会議に出席し、事前に情報を頂いている。 ・全員ではないが、必要時行われているようだ。 ・相談員を通しての場合が多いと思われる。 ・児童発達支援事業所職員も参加するケース会議において情報共有している。 ・必要に応じて、卒園後も助言等いただきたいと思う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	0	0	6	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の担当相談員と情報共有し、相談員から事業所へ報告されている。 ・ケース会議などで必要に応じて情報提供をしている。 ・必要に応じて提供されている。
	25	児童発達支援センター(ひまわり学園)、子ども発達相談室や発達障害者支援センター(ライズ＝はまぐみ内)等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	1	0	6	<ul style="list-style-type: none"> ・個別のケース(入学前、PT)で行われている。 ・直接助言等を受けているかは分からないが、専門機関が主催する研修会に参加している。 ・研修会に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害の無い子どもと活動する機会があるか	2	1	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みに市内の小学校の吹奏楽部と交流があった。 ・昨年の夏、御免町小学校吹奏楽の方々と交流することができた。 ・交流はしていない。
	27	自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	6	0	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書にて内容を確認している。 ・毎回出席している。職員は報告書で内容を周知している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から保護者とのコミュニケーションをよくとっていると思う。 ・連絡ノート以外にも、お迎えの際に保護者と話す機会を持っている。 ・お迎え時、児童発達支援管理責任者又は担当した職員から状況を報告している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して研修会や講演会等の情報を提供しているか	7	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・お知らせや行事の案内など提供している。 ・毎月のおたよりや事業所内の掲示板でお知らせをしている。 ・おしらせ、案内を行い、書面も配布している。 ・事業所が保護者の交流や学びの場を提供している。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・面談や契約時に説明を行っている。 ・契約時に説明されている。 ・契約時に又は折に触れ説明は行っていると思われる。 ・契約時に重要事項として説明し、施設内にも掲示している。
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・担当職員が助言と支援を行っている。 ・親身になっている。丁寧だと思う。 ・お迎えの時に保護者の方が話しやすい雰囲気づくりを心掛け、ていねいに応じている。 ・保護者同士の交流の機会を提供したり、先輩保護者の話を聞く会を設けたりしている。 	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	意見
⑤ 保護者 への 説明 責任 等	32	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に行っているが、参加者が固定している。 参加人数が少ないので、集まっていたけよう、再度お声がけするなどしている。 6月に茶話会を開催した。先輩お母さんの経験談をお聞きし、話題が尽きなかった。次回はランチを含めて時間を長めに設定してもよいと思った。 茶話会や懇親会を実施した。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 適切に対応していると思う。 苦情があった場合は、速やかに対応できる体制ができている。 苦情受付箱を設置している。日々の会話の中でご意見を伺えるようにコミュニケーションを図っている。 苦情解決のための体制を整えている。見やすい場所にチラシや苦情受付の案内を掲示している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> 月1回のおたよりで保護者に子どもの様子が伝わるような内容を意識して作成している。 育成会だより、放課後デイのおたより(毎月)を発行している。 毎月おたよりを発行し、事あるごとに連絡を行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	8	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 利用者に関する申し送り事項は、記録することで職員が周知するようにしている。 十分注意している。 書き損じなど個人名のあるものは、シュレッダーにかけるなどしている。 パソコン画面の向きや、掲示物、書類の扱い方に関して配慮するよう共通理解している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達がしやすいように配慮をしているか	8	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> 言語だけでなく、色々なコミュニケーションツールを使用しながら工夫している。 利用者の特性に合わせて絵カードでの視覚支援を行っている。 絵カードやホワイトボードを使い支援している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> サイクリングロードまつりや手芸講座を行い地域住民の方々との交流を図っている。 事業運営を行っているが、参加したことがない。 レンタルスペースにて講師を招き、地域の方、放課後デイの保護者も参加され、ハーバリウムやかごバッグ作りを楽しまれていた。 地域交流のための行事を行っている。町内会にも参加し相互理解に努めている。
⑥ 非常 時の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> 内部研修を行い、職員には周知している。保護者にはおたよりで紹介している。 対応マニュアルに沿って、対応、実施に努めている。 おたより等で各マニュアルのあることを知らせている。 保護者向けにはどの程度周知されているか分からない。 マニュアルに沿った訓練等も実施している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画に沿って、起案書を作成し訓練している。防犯グッズも定期的に補充し準備している。 定期的に訓練を行っている。 年間計画に沿って訓練、内部研修を行っている。 非常災害時避難計画に基づいた訓練を行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	意見
⑥ 非常時 の 対応	40	虐待を防止するため、職員の研修会を確保する等、適切な対応をしているか	9	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会に参加した職員が内部研修を行い、共通理解をしている。 ・内部研修を行い、全職員が理解している。 ・内部研修や毎日のミーティングで話し合い、適切な対応をしている。 ・虐待防止マニュアルを作成している。 ・定期的な内部・外部研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	8	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から承諾書にサインを頂き、記録を残している。 ・必要と考えられる利用者には保護者に承諾を得て、個別支援計画に記載している。 ・個別支援計画に別紙で身体拘束の時間を記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から投薬依頼書を頂いている。おやつを提供する際配慮している。 ・アレルギーの有無をリストアップしている。エビペンの有無も確認済。 ・アレルギーのある利用者は表等で把握しているが、指示書に基づいているかは分からない。 ・アレルギーを持つ利用者は把握しているが医師の指示書に基づくかは分からない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・作成し、共有している。 ・報告書が回覧される。また、内部研修を行い未然に防げるように対策している。 ・定期的集計し、報告・共有されている。
		回答数 387 (9人×43項目)	289	24	7	67	
		%	74.7	6.2	1.8	17.3	

実施月 令和2年 2月

【自由記載】

・新しい環境に不安になる子どもがいる。長期休みや代休、早帰りの日の居場所が決まっていると安心できる。広くてのびのびと過ごせる旧車野小学校はとて素晴らしいが、老朽化といつまでお借りできるか分からない。

・かどるあっぷ全職員が放課後の子どもたちにいろんな場面で関わっている。子どもたちはたくさんの人に見守られていると思う。「安心できる場所」として選んでいただけるように、温かい支援をしていきたい。

・職員は皆笑顔で対応できていると思います。保護者の皆様には小さなことでも話せるような、話しやすい職場の雰囲気づくりを続けていきたいと思います。

・利用者の笑顔や成長、保護者からの感謝の言葉が職員のやりがいにつながっている。